

鎌手地区

No.	分野	地区別	質問・意見・要望等	議員と語ろう井戸端会議当日の議員回答内容	後日担当課回答	担当委員会
1	地域交通	鎌手	地域づくり協議会で社協と協力して買い物困難者のために月2回くらい買い物ツアーを行っている。石見交通には黒字路線だけ運行してもらい赤字路線は市がすべて運行するようにできないか。	要望として受ける。	高速バス路線を除く全ての路線は運賃などの経常収益では賄えておらず、市としては利用促進を図るための施策を検討している状況である。また、地域公共交通を維持確保していくためには、既存のバス、タクシー、鉄道と併せて市が運行主体である乗合タクシーや過疎バスなどにより複合的に対応していく必要がある。それぞれの特徴を活かしながら住民が利用しやすい運行形態を検討していくこととしたい。	総務文教
2	地域交通	鎌手	東陽中学校に鎌手から生徒がバスで通学しているが、減便になったことを知らなかった。学校も知らなかった。生徒が1時間かけて歩いて帰る姿を見た。どうなっているのか。統合する時の条件に通学の際の保障は入っていたはずである。	総務文教委員会でも通学に関して児童・生徒に支障がないよう意見してきている。確認して回答する。	通学利用があるバス路線の減便・運休等については、教育委員会を通じ周知を行っているが、今回の事例を踏まえ、再度周知徹底を図るよう対応していく。	総務文教
3	地域振興	鎌手	水仙公園に来られる人が以前と比べると少なくなった。水仙は市の花である。行政から管理に対し補助金は出ないか。以前、補助金の相談に市に行ったが、事業収入が無い活動には補助金は出せないと言われた。どうなっているのか。	水仙公園に関することは確認して回答する。	地域自治組織活動であればまちづくり活動特別補助金などもあり、部署によって活用できるものがある。その他、行政のみならず、民間団体の補助金メニューなどもあり、市民活動支援センターが毎月発行する「ますだすまいる通信」などでも紹介をしており、相談も随時受け付けているのでご相談いただきたい。	総務文教
4	地域振興	鎌手	市の関心が薄い。草刈りに職員が1人でも来て手伝うよう働きかけて欲しい。(水仙公園)	水仙公園に関することは確認して回答する。	水仙公園の草刈りへの関心については、ボランティアとしての参加は重要と考えているが、あくまでも個人の判断によるものとなる。ボランティアの募集等あれば、庁内でも情報共有し呼びかけたいと考えている。	総務文教
5	産業経済	鎌手	ふるさと納税について、浜田市は1億3千万円あるが、人口もあまり変わらないのに益田市は約1億7千万円で浜田市に負けている。松永牛やメロン等もあり、さらに石見神楽とのタイアップも考えられる。もっとPRが必要ではないか。	これまでも議会で見解提案してきた。今後は返礼品目的ではなく企画も必要。かくラゴからも体験型の企画の意見が出ている。ふるさと納税額を増やす取組はこれからも可能性が広がっているので議員からもしっかり提案していきたい。	これまでの取組に加えて、新たに体験型のふるさと納税返礼品の開発、登録に力を入れている。引き続き本市の魅力発信に努める。	経済建設
6	農林水産	鎌手	猪が花を掘り返して花が無くなってしまう。(水仙公園)	水仙公園に関することは確認して回答する。	有害鳥獣対策については、地域状況に応じて対応している。詳しくは市農林水産課へご相談いただきたい。	経済建設
7	土木	鎌手	平原川に山陰道の工事の際の土砂が流れてきて堆積し、そこに草が生えて川水の流れが悪くなっている。近年のゲリラ豪雨が来た際には氾濫のおそれがある。管理はどこが行っているのか。対策が必要。	確認して回答する。	平原川は益田市管理の河川であるため、現地確認を行い、流水の阻害等が確認された場合は、必要に応じて浚渫等の対応を行う。山陰道工事の影響と断定された場合は、国土交通省へ依頼することも検討する。	経済建設
8	農業土木	鎌手	水仙公園は鎌手地区が単独で作ったものである。平日は2～3名、週末は5名体制で交通整理に出ている。負担が重くなっている。進入路を、途中で離合できるように拡幅すると交通整理の必要がなくなる。しかし、個人所有の土地であるため代替わりして理解を得ることも難しくなっている。	水仙公園に関することは確認して回答する。	林道唐音線は、林道規定における自動車道第2種2級であり、設計車両を普通自動車、小型自動車とし、車道幅員3mで、林業経営を確立されるために整備されたものである。本規定に基づき維持管理していきたいと考えている。	経済建設